学習プリント

地理「都市や産業の発展と自然環境」

年　　組　　番

名前

1．大陸に近い都市、福岡

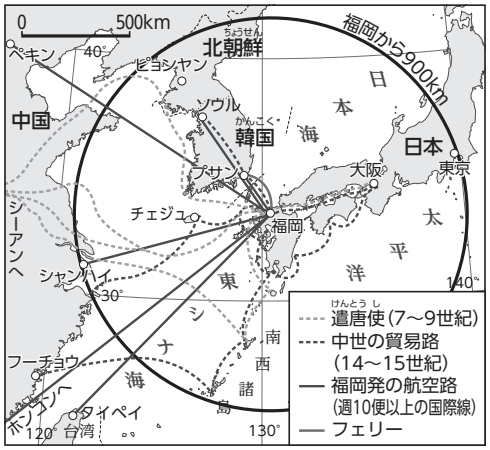
(1)　資料Ⅰを参考に、福岡から東京の距離と同じか、それより近い外国の都市を挙げてみよう。

（例）　プサン、ソウル、チェジュ、シャンハイ、ピョンヤン

(2)　現在、福岡市とアジアの主要都市とはどのような交通機関でつながっていますか。

（例）　航空路やフェリーでつながっている。

資料Ⅰ



2．九州の中心都市としての役割

福岡市の九州地方の中心都市としての特色を、三つの面からまとめてみよう。

❶　歴史的な面　（例）　大陸とのつながりが深い。
❷　交通の面　（例）　東京や九州の各都市と新幹線や高速道路でつながっている。
❸　施設などの面　（例）　商業施設や文化施設などが集中している。

3．地下資源を生かした工業の発展とその変化

(1)　八幡製鉄所が北九州市に造られた背景をまとめてみよう。

（例）　近くの筑豊炭田などで石炭が採掘できたほか、鉄鉱石の輸入先だった中国にも近かったため。

資料Ⅱ

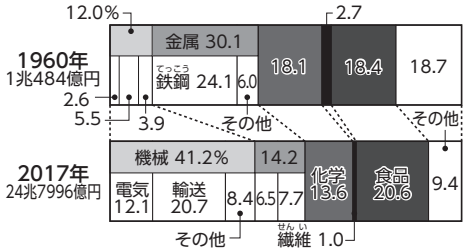
(2)　この地域に発展した工業地帯を何といいますか。

北九州工業地帯

(3)　九州地方の工業は、1960年から2017年の間でどのように変化したか、資料Ⅲから読み取ってみよう。

（例）　1960年では金属工業が中心だったが、2017年には機械工業の割合が大きく増加した。

資料Ⅲ



(4)　九州地方の工業の変化について、次の❶～❸にあてはまる語句や国名を記入してみよう。

1970年代	（❶　ＩＣ（または集積回路））の工場が急増し、電気機械工業が盛んになる。
1990年代以降	（❷　自動車　）の組み立て工場が進出し、製品は（❸　中国やアメリカ合衆国　）に向けて輸出されている。

本時のまとめ　◆　福岡県で観光業や工業が発展した理由を、アジアの国々との位置関係から説明しよう。

（例）　福岡県はアジアと近く、歴史的に大陸との玄関口になっており、多くの人や物が行き来する拠点となってきたから。